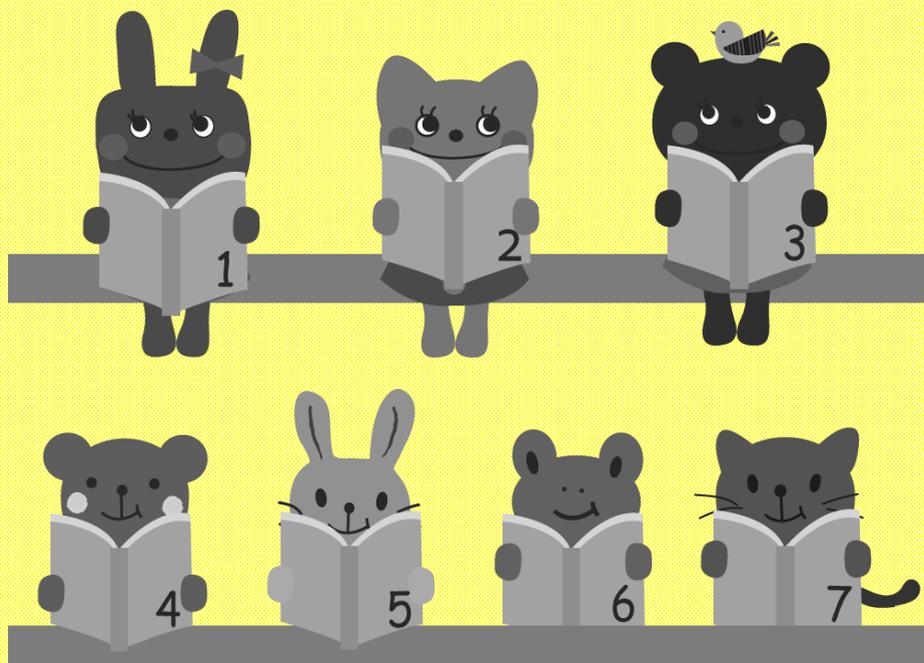


絵本はともだち

セカンドブックリスト

3歳から5歳向けのおすすめ絵本のご紹介



宇治市図書館

もくじ

はじめに.....	1
絵本の選び方.....	1
図書館のおはなし会に来てみませんか.....	1
3歳になったら.....	2
あさですよよですよ	
うずらちゃんのかくれんぼ	
わたしのワンピース	
ねずみくんのチョッキ	
14ひきのあさごはん	
親子関係と自立.....	4
パパ、お月さまとって！	
おちゃのじかんにきたとら	
ちいさなヒッポ	
こすずめのぼうけん	
よるくま	
友だち関係.....	6
そらまめくんのベッド	
どうぞのいす	
11ぴきのねこ	
ルラルさんのにわ	
どんなにきみがすきだかあててごらん	
心の成長.....	8
三びきのやぎのらがらどん	
ぐるんぱのようちえん	
おだんごばん	
ラチとらいおん	
きょうはみんなでクマがりだ	
豊かな感性・好奇心.....	10
からすのパンやさん	
はなをくんくん	
はらぺこあおむし	
おばけのてんぷら	
まあちゃんのながいかみ	
長いお話もぐんぐん吸収.....	12
どろんこハリー	
ももたろう	
おさるのジョージどうぶつえんへいく	
めっきらもっきらどおんどん	
だいくとおにろく	



*各ページの発達コラムは、発達心理学の
専門家 京都文教短期大学 幼児教育学科
鳥丸佐知子教授にご執筆いただきました。



はじめに

子どもたちにとっての読書は、感受性を育み、表現力を高め、豊かな人間性を育てるものです。本市では、「はじめての絵本ふれあい事業」を実施し、3か月健診で赤ちゃんが初めて出会う絵本(ファーストブック)のリスト配布などを行ってきました。今回、「ファーストブックの次にどんな絵本を読んだらよいのか分からない。」といった声を受け、主に3歳から5歳の子どもたちに向けたセカンドブックのリストを作成しました。どれも、息長く出版されているスタンダードな絵本ばかりです。どうぞ、お主人にたくさんの絵本を読んであげてください。



絵本の選び方

- **ベストセラーよりロングセラーのものを選びましょう。**
ロングセラーとは、長く読み継がれてきた本のことです。時代がたっても出版され続ける絵本には、子どもの心を捉えて離さない魅力があります。
- **いろいろな作者の作品を読みましょう。**
幼児期は、五感が著しく発達を遂げる時期です。特定の作者に偏らず、様々な絵・言葉・テーマの絵本に触れ、子どもの心と感性を育てあげてください。
- **子どもが求めてくる限り、何度も読みましょう。**
大人が文字を読んでいる間、子どもは絵を読んでいます。読むごとに絵のすみずみまでを観察し、新しい発見をしたり、物語への理解を深めていきます。



図書館のおはなし会に来てみませんか

図書館では、毎月おはなし会を開いています。

- **中央図書館**
第1日曜日 15:30~16:00
- **東宇治図書館**
第2日曜日 10:30~11:00
- **西宇治図書館**
第3水曜日 15:30~16:00





3歳になったら

食事やお着替え、トイレもひとりでできるようになり、約1,000語を話せるようになるこの頃、盛んに「なぜ」「どうして」を口にするようになります。お友だちと一緒にの方が楽しいと分かっているものの、自己主張も激しくなるので、けんか(トラブル)になることもしばしば。しかしそこから、折り合いをつけること等を徐々に学んでいきます。この頃になると、絵本の登場人物に自分を重ねて感動したり、想像世界でのいろいろな体験も可能になります。

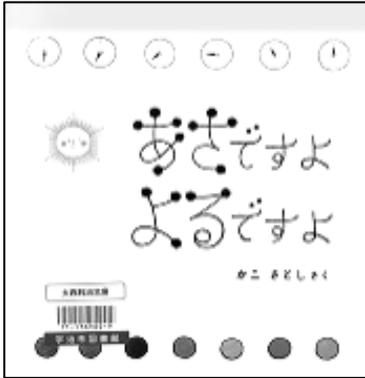


せいかつ

あさですよよるですよ

かこ さとし/作
福音館書店

「あさですよー おきなさーい」「さあ よるですよー おやすみなさい さようなら」。ちいさなみどりのおまめ兄弟は、家族でご飯を食べたり、にこにこえんでお友達や先生と遊んだりして、楽しく1日を過ごします。ユーモアたっぷりの語りとページいっぱいに描かれた絵で綴られる一冊です。



あそび

おやこ

うずらちゃんのかくれんぼ

きもと ももこ/作
福音館書店

シリーズあり

うずらちゃんが、ひよこちゃんとかくれんぼを始めました。「もういいかい」「まあだだよ」、2羽は自分の体の色や形を生かし、花びらやひょうたん、きのこの中に上手にかくれます。色鮮やかに描かれた可愛らしいうずらちゃんやひよこちゃんと一緒に、かくれんぼ遊びを楽しめる絵本です。



春 ファンタジー

わたしのワンピース

にしまき かやこ/文・絵
こぐま社

シリーズあり



ミシン カタカタ カタカタ。うさぎがミシンで縫った白いワンピースを着て、春の野原に出ると、あら不思議！ワンピースの模様が変わりました。繰り返される「ラララン ロロロン」のフレーズが、ゆったりした雰囲気を作り、ロマンチックな世界へ連れて行ってくれます。1969年に出版されたロングセラーです。

ともだち

ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを/作 上野 紀子/絵
ポプラ社

シリーズあり



おかあさんが編んでくれた、ねずみくにピッタリの赤いチョコッキ。「ちょっときせてよ」あひるくんにさるくん、あしかくんと、チョコッキを着たがる動物が次々と現れます。大切なチョコッキがどんどん伸びてしまい…。緑の枠に白黒のキャラクター、赤いチョコッキが際立つシンプルな絵に想像が膨らみます。

春 かぞく せいかつ

14ひきのあさごはん

いわむら かずお/作
童心社

シリーズあり



14匹のねずみ一家のお話。みずみずしい木の実・草花に囲まれ、朝ごはんの準備をする14匹の様子が、見開きいっぱい描かれています。おやおや、お寝坊さんのねずみがいますよ。誰かな？読みながら絵をじっくり見ると、14匹それぞれの個性がわかり、自然観察への興味関心も育ててくれます。



親子関係と自立

乳幼児と特定の人(養育者)との間の情緒的な絆のことを愛着(アタッチメント)と呼んでいます。安定した愛着関係を築くことができた子どもは、そこを「安全基地」とし、盛んに自分なりの遊びや他者との関わりを広げていこうとします。キーワードは「安全」「安心」。大好きなパパ・ママはいつも必ず自分を見守ってくれる。そしていざというときには、しっかり受け止めてくれる。この、人に対する信頼感がしっかりできると、子ども自身の自己肯定感も育まれ、自ら新たな冒険へ踏み出すことが可能になります。



おやこ しぜん しかけ

パパ、お月さまとって！

エリック＝カール/作 もり ひさし/訳
偕成社

「パパ、お月さまとって。」娘のモニカの願いを叶えるため、パパは“ながーいはしご”を持って、お月さまをとりに出かけます。果たして、パパは大きな大きなお月さまを家に持って帰ることができるのでしょうか。月の満ち欠けの様子、鮮やかな色彩、ダイナミックなしかけがひときわ目をひく絵本です。



かぞく

おちやのじかんにきたとら

ジュディス・カー/作 晴海 耕平/訳
童話館出版

「ごめんください。」ソフィーとお母さんのお茶の時間に、お腹をすかせたトラがやってきました。2人はすんなりと家の中にトラを入れ、ありったけの食糧を食べさせると、家の中は空っぽになってしまうのでした。トラを猫のように可愛がるソフィーの姿と、トラの優しい瞳が日常を忘れさせてくれます。

おやこ しぜん いきもの

ちいさなヒッポ

マーシャ=ブラウン/作 うちだ りさこ/訳
偕成社



ヒッポはお母さんにくっついて暮らすカバの子どもです。お母さんカバは、生きていくために必要な鳴き声を教え自立を促す時が来ました。ところが、ヒッポがひとりりで川面に顔を出すと横に大きなワニがいたのです。自然描写に忠実でダイナミックな木版画が目を引きまます。カバの生態もわかる絵本です。

おやこ しぜん いきもの

こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース/作 堀内 誠一/画
石井 桃子/訳 | 福音館書店



羽がはえ揃い、飛ぶ練習を始めたこすずめは、嬉しくしてお母さんの目の届かない遠くまで行ってしまいました。疲れたこすずめは休み場所を探しますが…。初めて自分で何かができる喜びと、迷子になった不安な気持ちを、親子で一緒に体験できます。豊かな自然の風景が水彩とクレヨンで美しく描かれた一冊です。

おやこ ファンタジー

よるくま

酒井 駒子/作・絵
偕成社



ママあのね…。ベッドに入った男の子が、ママにお話をします。迷子になった“よるくま”と一緒に、お母さんを探しに行ってきたというのです。本当かな？青や黒、黄色をベースにした絵が夜の静けさを表し、ママの穏やかなあいづちが心地よく響きます。入眠前の読み聞かせにおすすめの絵本です。



友だち関係

4歳頃から思いやりの気持ちが生まれますが、同時に心の揺れも体験し、自分の感情を自分でコントロールする我慢を覚えていきます。仲間とのつながりが強くなる一方で、けんかやいざこざも増える時期です。しかし5歳になると自己イメージが明確になり、集団の中での自分のふるまい方も分かるようになるので、友だちとの関わりも円満になります。遊びにも変化が生まれ、計画を立てる、自分たちでルールを作るなど、集中して粘り強く遊べるようになっていきます。



ともだち しぜん

そらまめくんのベッド

なかや みわ/作・絵
福音館書店

シリーズあり



自分のさやでできたふわふわベッドを誰にも貸さないそらまめくん。ところが、あることがきっかけで、豆の仲間たちを自分のベッドに招待することに…。大切な物を他人に貸すことは、なかなかできることでありませんよね。何があったのでしょうか。登場する様々な豆が色鉛筆で細かく描かれています。

ともだち 秋

どうぞのいす

香山 美子/作 柿本 幸造/絵
ひさかたチャイルド



うさぎさんが置いた「どうぞのいす」に、ろばさんはどんぐりを置いて昼寝を始めました。そこへ次々とちそうを持った動物たちがやってきます。目を覚ましたろばさんは、どんぐりがくりになっていてびっくり。さて何が起きたのでしょうか。動物たちが暖かいタッチで描かれ、思いやりの心を育みます。



なかま ぼうけん

11ぴきのねこ

馬場 のぼる/著
こぐま社

シリーズあり

しま模様のとらねこたいしょうと10ぴきの仲間たちは、いつもお腹がペコペコ。ある日おじいさんねこに教えられ、大きな魚を捕まえに湖へ出かけます。果たしてねこたちは大きな魚を捕まえ、無事に持ち帰ることはできたのでしょうか…。漫画家としても知られる馬場のぼるが描くロングセラー絵本です。

ともだち せいかつ

ルラルさんのにわ

いとう ひろし/作
ポプラ社

シリーズあり

メガネにひげ、ネクタイ姿のルラルさんは、芝生の庭をととても大切にしています。なんとある日、庭にワニがいるではありませんか。最初は怖かったものの、陽気なワニに誘われ芝生の上に寝転んでみると、その気持ちのいいこと。ルラルさんとゆかいな動物仲間たちが繰り広げる、のんびり温かな物語です。

ともだち

どんなにきみがすきだかあててごらん

サム・マクブラットニィ/文 アニタ・ジェラーム/絵
小川 仁央/訳 | 評論社

シリーズあり

デカウサギとチビウサギは、お互いがどれくらい好きかをくらべっこしています。腕の長さや背の高さに例えますが、どちらも自分こそはと譲りません。絵は優しい色合いの絵の具とペンで描かれており、読んで心が温かくなります。あなたも家族や友達に好きな気持ちを伝えてみませんか。





心の成長

興味・関心、行動の範囲が広がるにつれて、新しい経験も増えてきます。しかし、いつもうまくいくとは限りません。「やったね!」「大成功!」と思うときもありますが、失敗して「しょんぼり」してしまうこともあります。しかし、そうした様々な経験を経て、子どもはたくましく成長していきます。「失敗は成功の母(もと)」「最後まであきらめない」「人生に無駄なことはひとつもない」。絵本の中には、そんなメッセージを伝えてくれるものもあります。



むかしばなし

三びきのやぎのがらがらどん

マーシャ・ブラウン/絵 せた ていじ/訳
福音館書店

“がらがらどん”とは、やぎの名前です。小さい・中くらい・大きい、三びきのやぎのがらがらどんは、草を食べようと山へ向かいます。吊り橋にさしかかると、恐ろしいトロールが出てきます。立ち向かう大きいやぎの力強い絵・荒々しい言葉は、生きる勇気と勝利の喜びを与えてくれます。北欧の民話です。

なかま

じりつ

ぐるんぱのようちえん

西内 ミナミ/作 堀内 誠一/絵
福音館書店



ぐるんぱはひとりぼっちの大きな象です。靴屋や工場です仕事をしますが、何を作っても大きすぎて追い出されてしまいます。しょんぼりしていると、12人の子がいるお母さんに子守を頼まれます。その時ぐるんぱが作った素敵なものとは何でしょう？水彩で描かれたキャラクターの表情にも注目です。



むかしばなし あそび

おだんごぱん

せた ていじ/訳 わきた かず/絵
福音館書店

おばあさんが、おだんごぱんを焼きました。さまされている間に、おだんごぱんは寂しくなって外へ逃げ出しました。道で様々な動物に出会い、食べられそうになりますが、歌を歌って逃げました。しかし、口の上手いキツネに出会うと…。テンポの良いフレーズの繰返しが印象的なロシアの昔話です。

ともだち じりつ

ラチとらいおん



マレーク・ベロニカ/文・絵 とくなが やすもと/訳
福音館書店

犬も友達も暗い部屋も怖がるラチは、自分を世界一の弱虫だと思っていました。絵本を読んでばかりのラチでしたが、小さな赤いライオンと出会って変わっていきます。次第に心も体も強くなるラチは、勇気を出せるでしょうか。キュートな絵とシンプルな言葉が心に響くお守りのようなハンガリーの絵本です。

かぞく あそび



きょうはみんなでクマがりだ

マイケル・ローゼン/再話 ヘレン・オクセンバリー/絵
山口 文生/訳 | 評論社

5人家族が犬を連れてクマ狩りに出発です。野を越え、川越え勇ましく…。おや、最後には布団をすっぽりかぶった一家の様子が描かれていますよ。クマ狩りは成功したのでしょうか。リズムよく進む文章に、白黒・カラー絵が交互に出てきます。読みながら動作をつけて遊ぶこともできる楽しい絵本です。



豊かな感性・好奇心

鮮やかな色使い、待ち望んだ春を見つけた喜びと命の輝き、見開きいっぱい
並んだユニークなパンなど、キラキラ輝く瞳で絵本に見入るとき、子
どもたちは何を感じているのでしょうか。わくわく、ドキドキ、空想の世界
が広がっているかもしれません。絵本は、子どもたちが本来持っている
感性や想像力をさらに引き出し、豊かにしてくれるステキな贈り物
でもあるのです。



かぞく ユーモア

からすのパンやさん

かこ さとし/作・絵
偕成社

シリーズあり

でんわパンにくじらパン、からすのパンやさんが4羽
のこどもたちと、かわったかたちのパンをどっさり作
りました。香ばしいにおいに誘われ、森じゅうの子が
からすが飛んできます。それを見たあわてんぼうのゴロ
ベエどんは…。見開きいっぱいに描かれた面白パンや
からすの表情に笑みがこぼれる絵本です。



冬-春 しぜん いきもの

はなをくんくん

ルース・クラウス/文 マーク・シーモント/絵
きじま はじめ/訳 | 福音館書店

森に雪がふっています。のねずみ、くま、かたつむり
…。地面の下では、色々な生き物が体を丸くして眠っ
ています。おや、何かにおいがしてきたのかな？みん
な鼻を「くんくん」させ、起きだして集まってきます。
モノトーンで描かれる世界の最後に、ポツと色づく黄
色の一輪が嬉しい気持ちを誘います。

ユーモア しぜん しかけ

はらぺこあおむし

エリック=カール/作 もり ひさし/訳
偕成社

電子書籍あり



葉っぱの上に小さな卵。あおむしの卵です。りんご、なし、すもも…。日曜日の朝に生まれたあおむしは、1週間かけてたくさんの物を食べ、みるみる大きくなり、美しい蝶に…。絵の具で色付けした薄紙を切り貼りして描かれた絵には遊び心があり、デザイン性に富んでいます。穴あきしかけ付きの絵本です。

ともだち

おばけのてんぷら

せな けいこ/作・絵
ポプラ社

シリーズあり

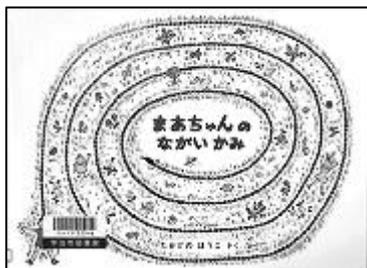


うさこは、たべることがだいすき。友だちに作り方を教えてもらって、てんぷらを作ることになりました。すると、てんぷらのいい匂いにつられて、おばけがやってきて…。あたたかみを感じる独特な貼り絵は、おばけだってかわいく見せてしまいます。マイペースなうさことおばけとのやりとりが楽しい一冊です。

ユーモア ともだち

まあちゃんのながいかみ

たかどの ほうこ/作
福音館書店

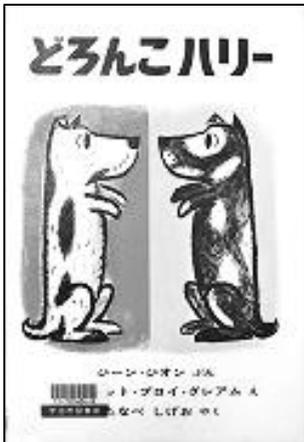


長い髪が自慢の友だちに「あたしなんかね、もっとずっとのぼすんだから」と言うおかっぱのまあちゃん。長い髪で魚釣りをしたり、洗濯物を干したりと愉快的な発想が次々と飛び出します。まあちゃんが想像する世界は現実と比べて、鮮やかな色彩で描かれ、明るく楽しい気持ちにさせてくれます。

長いお話もぐんぐん吸収

5歳になると、物事の判断ができる基礎が出来あがります。大人が「悪い」ということをそのまま伝えるのではなく、なぜ悪いのかをきちんと説明し、理解させることが重要です。絵本では、長いお話に挑戦する子どもも増え、ファンタジーの世界に没入して楽しめるようになってきます。自らの経験と照らし合わせて語ることも可能に!

1冊の絵本の世界を、親子で分かち合ってみるのはいかがでしょう。この時期、空想の世界で遊べる冒険絵本を好む子どもも多くなります。



せいかつ

かぞく

どろんこハリー

ジーン・ジオン/文 マーガレット・ブロイ・グレアム/絵
わたなべ しげお/訳 | 福音館書店

シリーズあり

黒ぶちのある白い犬ハリーはお風呂が大嫌い。お湯を入れる音を聞いて家から逃げ出します。たくさん遊んで真っ黒になって帰ると誰にもハリーだとわかってもらえません。困ったハリーは…。緑・橙・白・黒だけのわずかな配色で、町の景色や家の中の様子、表情がいきいきと描かれている素敵な一冊です。

むかしばなし

ももたろう

松井 直/文 赤羽 末吉/画
福音館書店



日本の代表的な昔話です。桃からうまれた桃太郎は、おじいさんおばあさんに見送られ、きびだんごを持って鬼ヶ島へ鬼退治にでかけます。犬、猿、きじをおともに連れて。さて、最後に持ち帰ったものは何でしょう。墨絵を思わせる日本画調の絵と、テンポの良い語りが昔話の世界観を引き立たせています。

ユーモア



おさるのジョージ どうぶつえんへいく

M. & H.A.レイ/原作 渡辺 茂男/訳
岩波書店

シリーズあり

電子書籍あり

おさるのジョージは仲良しの黄色い帽子のおじさんと動物園へ遊びに行きます。動物園のワニやキリンにお菓子を分けていると、係員のおじさんに注意されてしまいました。ジョージが逃げた先にいたのは…？世界中の子どもたちに愛されるひとまねこざるの愉快ないたずらと冒険をお楽しみください。

夏

ともだち

ファンタジー

めっきらもっきらどおんどん

長谷川 摂子/作 ふりや なな/画
福音館書店



主人公のかんたは、遊び相手を探そうち、神社で不思議な世界に迷い込みます。そこで出会ったへんてこ三人組と愉快的遊びに夢中になりますが、次第に心細くなってきて…。表紙絵のような奇妙な世界から、お母さんのいる日常へ帰れるのでしょうか。楽しい語感が物語を盛り上げるファンタジー絵本です。

むかしばなし

だいくとおにろく

松居 直/再話 赤羽 末吉/画
福音館書店



村人たちと暴れ川に橋をかける約束をした“だいく”と、その引き換えに目玉をよこせという“おにろく”。知恵者で肝の座った大工と強面なのにユーモラスな鬼との掛け合いや「ぶっくり」「にかっ」などの擬音が楽しく、声に出して読みたくなります。筆で描かれた絵が日本の昔話にうまく調和しています。

【開館時間】

○中央図書館

平日 午前9時～午後6時
土日祝 午前9時～午後5時

○東宇治・西宇治図書館

午前9時～午後5時

【休館日】

- 月曜日
(休日の場合は翌日)
- 毎月の第4木曜日
(休日の場合は翌日)
- 休日の翌日
(土・日の場合は平日に振替)
- 12/28から翌年の1/4まで
- 特別整理日
(「としまかんカレンダー」でご確認ください)



■ 中央図書館

〒611-0023

宇治市折居台1丁目1番地
宇治市文化センター内

☎0774-39-9256



図書館
ホームページ



■ 東宇治図書館

〒611-0011

宇治市五ヶ庄三番割36-5
東宇治コミュニティセンター1階

☎0774-39-9182



図書館LINE



■ 西宇治図書館

〒611-0042

宇治市小倉町山際63-1
西小倉地域福祉センター3階

☎0774-39-9226

電子書籍

宇治市
電子図書館



【発行年月】 2022年11月
【発行】 宇治市図書館